
狂気に満たされた少女と名も知らぬ青年のお話

るっぴい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

狂気に満たされた少女と名も知らぬ青年のお話

【Nコード】

N7798Z

【作者名】

るっぴい

【あらすじ】

以前発表した作品の再掲、およびその続きになります。

0・青年が出会った少女についての話のはじまり

ようこそいらっしやいました。

これから私がお話するのは、このあたり一帯を治めていたベントリー伯のあるお屋敷で、私自身が見てきたことです。

一番古いことになりましたともう17年以上も前の話になりますので、そのすべてが本当にあつたことであるとは私にも保証できないのですが……。しかし今からお話することのほとんどは実際にあつたことで間違いありません。

私が告白する意義、ですか？

ええ、ご存じのとおりベントリー伯は先の戦争で血筋が途絶え、もはやお世継ぎもいらっしやいません。あの広大なお屋敷もまもなくお取り潰しになるでしょう。私のようにあのお屋敷に隠されていた秘密を知る者も、ほとんどいなくなってしまうました。もともとが少なかった、というのもありますが、それと同様に消されてしまつたり、病や戦争で死んでしまつた人もいたでしょう。そして私自身、かつての同僚と道をわかつて、こうして秘密を抱えながら寂しく生きていくのが辛くなってしまったのです。　わかりませんか？　たとえ今、わからなかったとしても、いずれあなたにもわかる 때가来るでしょう。

……前置きが長くなつてしまいました。それでははじめましょうか。

繰り返すようですが、このことは他言無用をお願い致します。もっとも、広めようとしたところで、いかほどの人が信じてくれるものか、私にもわかりかねるところですがね。それとは関係なく、私はこの物語を広めてほしくはないと、そう強く願っているのですから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7798z/>

狂気に満たされた少女と名も知らぬ青年のお話

2011年12月25日20時55分発行